

## 平成26年度障害者基幹相談支援センター運営評価について

### 1 相談件数及び相談者数

	相談件数			相談者数			
	訪問	外来	計	障害者	障害児	計	(再掲) 新規
障害者基幹相談支援センター	14,751	35,053	49,804	6,393	488	6,881	3,734
《参考》 障害者地域生活支援センター (平成25年度)	12,954	28,986	41,940	4,777	517	5,294	2,208

(新規相談者の内訳)

	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳 機能障害	難病等	その他
障害者基幹相談支援センター	851	841	1,784	150	104	31	192
《参考》 障害者地域生活支援センター (平成25年度)	532	580	936	83	22	21	125

※障害種別欄について重複障害の場合は複数計上

※「その他」は手帳不所持等の方

## 2 評価結果

【評価対象年度】平成26年度 【契約期間】H26.4.1～H31.3.31

運営団体	センター名	自己評価 (平成26年度障害者基幹相談支援センター事業実施報告書から)	外部評価 (区自立支援協議会構成員へのアンケートから)	市の評価
社会福祉法人千種福祉会	千種区障害者基幹相談支援センター	3障害に対応する相談窓口として、今までに築いてきたネットワークを活かし、更に1か所で行うことで6名の相談員がケースの対応を通じて自己研鑽しながらすすめており、困難ケースや虐待ケースにも対応してきている。精神の相談は初年度としては新規相談の半数を占めており、医療との連携や地域資源とのつながりもケースを通じて積み重ねてきている。その点では、積極的な関わりをこれからすすめていくところである。	相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は研修や情報交換の場として有意義であるという意見が寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。区内には相談支援事業所が少ないことから、近隣の相談支援事業所に協力を求めながらのケース対応が行われていた。また、精神科病院から退院した方を病院と連携を図りながら、地域生活を送れるよう継続的に支援してきた。
東区障害者基幹相談支援事業コンソーシアム	東区障害者基幹相談支援センター	地域の中核的な役割を担う機関として、相談支援については困難ケースを中心とした対応を行いつつ、そこで起因とされている課題を掘起し、自立支援協議会を基盤とした地域創りを行っていくのも主業務の一つと考える。当区において国が示す協議会の目的・機能が有効に機能しているとは必ずしも言えない状況であり、再考の時期に来ていると思われる。再考の必要性について入口部分の協議はできたが、具体的検討までには至らなかった。	相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会では、事業所間の連携や情報共有ができること、福祉避難スペースの確保など防災部会の活動が有意義であるといった意見が寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。自立支援協議会については、年2回区内全事業所を対象に安否確認訓練を実施するなど防災に関する取り組みが積極的に行われた。また、精神科の6病院を訪問し、地域移行支援などの制度説明を行うほか、精神障害者の地域移行の取り組みも行われた。
社会福祉法人共生福祉会	北区障害者基幹相談支援センター	どんな相談でも福祉の枠を超え迅速に対応してきた。今年度は待ちの相談ではなく地域に出て広範囲の相談を受けることと、地域のネットワーク構築することを課題にした。月に一度16小学校区での巡回相談窓口の開催と地域民生・児童委員・知的/身体障害者相談員・センター職員との地域懇談を開催している。この活動でセンターの役割等が広報でき地域ネットワークの手掛かりになった。	相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は研修や情報交換の場として有意義であるといった意見がある一方、相談支援部会の定期的な開催を望む意見も寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。月1回、区内のコミュニティセンターを会場にして「障害者福祉地域相談」を実施し、地域における相談の掘り起しや地域の関係者(民生委員・児童委員等)とのネットワーク作りが図られた。なお、権利擁護については、今後さらなる取り組みを期待したい。

運営団体	センター名	自己評価 (平成26年度障害者基幹相談支援センター事業実施報告書から)	外部評価 (区自立支援協議会構成員へのアンケートから)	市の評価
西区障害者基幹相談支援センター	西区障害者基幹相談支援センター	基幹相談支援センターとして、チームとしての支援を心掛け、相談支援では個々のケースに対する丁寧な対応を行ってきた。今後は基幹センターの役割を再度振り返りつつ、安定した相談支援体制を整える必要があると考えている。自立支援協議会運営については、事業所との連携という視点では評価できる点もあるが、相談に繋がっていない地域の障害者、家族を意識した取り組みや、課題抽出のシステム作りが今後の課題と思われる。	相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていたが、センターの相談員の不在や留守電対応が多いため、連絡体制の確保を望む意見も寄せられていた。自立支援協議会では、事業所間の連携や情報共有ができ有意義という意見がある一方、部会に当事者団体の参加を望む意見も寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。自立支援協議会において、障害福祉サービス事業所を紹介するイベント等が積極的に行われていた。なお、地域移行・地域定着支援については、今後さらなる取り組みを期待したい。
中村区名身連・親愛の里共同事業体	中村区障害者基幹相談支援センター	個別のケースワークとしては関係機関との協働、または地域のネットワークの中で相談支援に対応できたのではないかとと思う。ただし、限られた範囲の連携でのケースワークに留まっている感は否めない。地域との繋がりについての取り組みなどが不十分な点を意識し、自立支援協議会での働きかけ方の見直しも含めて、改めて「地域と共に支える」ことを第一に、地域の一員として活動していきたいと思う。	相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は、事業所間の連携や情報共有ができ有意義という意見が寄せられていた。なお、相談支援事業所の質の向上、困難ケースを取り上げた検討会の実施などを望む意見も寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。センターとして、さらなる支援者の広がり構築を図るため、常に「地域の力(福祉力)」を向上しようとする姿勢が伺えた。また、精神科病院に対して、地域移行支援の事業説明を行うほか、対象者の掘り起しや退院意欲の向上に努めるなど、地域移行に向けた積極的な取り組みがみられた。
社会福祉法人むつみ福祉会	中区障害者基幹相談支援センター	平成25年からの継続部分については大きな変化やトラブルなくほぼ計画通り進めることができた。しかし、単独型基幹センターとして「精神障害」の方のケースはほぼ新規ケースで、鶴舞メンタルクリニック(スーパーバイズ契約)の協力を得ながら相談内容の確認や関係作り、また関係機関との関係作りを行なう1年となった。今後の課題としては「地域移行・地域定着支援」における普及啓発や実際の支援を計画的に実施する必要がある。	相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は、事業所間の連携や情報共有ができ有意義という意見が寄せられていた。なお、より一層のネットワーク強化、情報発信を期待する意見も寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。障害者の方の余暇支援と居場所の提供を目的に「よりみちサロン」といった独自の取り組みも実施していた。また、区内の通所施設、ヘルパー事業所の空き情報を区内相談支援事業所に提供した。

運営団体	センター名	自己評価 (平成26年度障害者基幹相談支援センター事業実施報告書から)	外部評価 (区自立支援協議会構成員へのアンケートから)	市の評価
昭和区基幹相談支援コンソーシアム	昭和区障害者基幹相談支援センター	計画した事業内容はおおむね実施できている。一方で独自の取り組みについては目立った成果があるわけではないので、現状を維持しつつ、地域課題をどのように抽出し解決していくかということが今後の課題と考えている。	相談対応としては、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は、情報交換や事例検討の場として有意義であるといった意見が寄せられていた。なお、相談支援事業所のフォローや協議会の活性化を望む意見も寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。自立支援協議会においては、民生委員や地域ボランティアとの交流がありネットワークの広がりをみせていた。また、地域移行支援については、精神科病院への積極的な働きかけが行われた。なお、権利擁護については、自立支援協議会において研修を行う計画もあることから、今後の取り組みを期待したい。
社会福祉法人名古屋総合リハビリテーション事業団	瑞穂区障害者基幹相談支援センター	基幹センターとして障害を問わず総合相談に対応できるよう相談員の支援力向上に取り組んだ。関係各機関・各事業所とのネットワーク作りを積み重ねることで、複数領域にまたがり支援が必要な困難事例や権利擁護事例に対して適切な役割分担のもと支援を提供できたほか、当事者サロン等の地域の実情に即した資源を創出することができた。今後は事業所等の後方支援から発展させ、人材育成等の地域課題への取組について一層充実させる。	相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は、情報交換や事例検討の場として、また施設見学、外部研修などの幅広い取り組みが行われており有意義であるといった意見が寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。障害当事者の余暇支援と居場所の提供を目的とした「夕暮れサロン」等といった独自の取り組みも実施されてきた。また、地域移行支援については、障害者支援施設からの移行の実績もあり、積極的に行われていた。
熱田区名身連・親愛の里共同事業体	熱田区障害者基幹相談支援センター	一年目の運営内容としては、計画した内容についての足固めの活動を行ってきた。初年度は関係機関とのつながりを持つことを主軸に活動をしてきた中で、協力関係ができて次につながる一年とすることが出来たと思われる。一つ一つの計画を改めて見返すと、達成した状況となるまでのスケジュールを組み実行していきたい。	相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていたが、センターの活動内容の周知を望む意見が寄せられていた。自立支援協議会は、事業所間の連携や情報共有ができ有意義という意見が寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。精神科病院に対して、地域移行支援の事業説明を行うほか、対象者の掘り起しや退院意欲の向上を図った。また、自立支援協議会においては、独自の取り組みとして、エンジョイフェア(福祉交流会)が地元企業の協力のもとに行われるなど活性化が図られていた。

運営団体	センター名	自己評価 (平成26年度障害者基幹相談支援センター事業実施報告書から)	外部評価 (区自立支援協議会構成員へのアンケートから)	市の評価
社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会	中川区障害者基幹相談支援センター	手帳所持者数が3障害共に16区中最も多く、多種多様な相談がある中、本センターの支援体制を駆使し、情報を共有しながら新規相談にも複数の相談員で迅速に対応。丁寧かつ効率的な支援の実施ができた。自立支援協議会も、防災、権利擁護、相談支援、広報啓発部会を新たに立ち上げ活動も活発になった。ただ地域性もあり、まだまだ地域全体の支援力向上を目指した地域づくりが、不可欠である旨も痛いほど感じた1年だった。	相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は、情報交換や事例検討、研修の場として有意義であるといった意見が寄せられていた。また、センターの相談体制の充実を望む意見も寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。「地域だより」を毎月発行することにより、自立支援協議会の取り組みを外部に発信するとともに、障害理解の啓発活動であるチームメッセンジャーなど独自の取り組みも行われていた。また、グループホーム及び施設入所支援の空き情報を区内相談支援事業所に提供した。
港区障害者基幹相談支援センター	港区障害者基幹相談支援センター	自立支援協議会では、相談員との連携強化や出前型の啓発活動の開催など区協議会委員からも一定の評価を受けている。今後の課題としては地域課題の抽出・解決に向けて参加者が議論できる仕組みが求められていること、また、地域で生活している利用者がより安心して暮らせるよう行政、社協を通じて民生委員等の地域住民により支えられる仕組み作りも必要と思われる。	相談対応としては、親身、丁寧に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は、情報交換や事例検討、研修の場として有意義であるといった意見や地域課題等の解決へ向け活動を望む意見も寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。精神科病院精神保健福祉士と相談支援専門員との意見交換及び交流の場を設けたほか、精神科病院から地域移行される方の支援も行われていた。また、障害理解の啓発活動である「あなたと私の架け橋宅急便」など独自の取り組みも積極的に行われていた。
名古屋市南区障害者基幹相談支援センターコンソーシアム	南区障害者基幹相談支援センター	自立支援協議会の再編により、組織メンバーが課題を持ち、参加・運営していく仕組みづくりができた。地域の連携システムの構築ができ、相談や関係機関、当事者と連携をとりながら地域の課題に寄り添っていくセンターの運営目標に向かい進んでいる。今後も継続していくつもりではあるが、総合相談をはじめ多種多様な業務があり、各自研鑽をはじめ、集中して取り組める体制作りが今後の課題である。	相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は、情報共有や意見交換の場として有意義であるといった意見が寄せられていた。また、センターの相談体制の充実を望む意見も寄せられていた。	概ね適切に運営されていた。児童養護施設からの地域移行支援の取り組みが行われていた。自立支援協議会においては、高齢者の関係機関の参加を促し、高齢者福祉との連携が図られていたほか、組織体制の再編が行われ、具体的課題解決型のワーキンググループが動きだした。

運営団体	センター名	自己評価 (平成26年度障害者基幹相談支援センター事業実施報告書から)	外部評価 (区自立支援協議会構成員へのアンケートから)	市の評価
守山区障害者基幹相談支援共同事業体	守山区障害者基幹相談支援センター	<p>基幹センターに求められる事業に関しては、概ね全うできたのではないかと考えている。総合相談窓口として、障害の種別を問わない相談をはじめ、困難事例や権利擁護事例等にも関係各所と協力して対応することができ、地域移行に関しても成功例に関与することができた。また、自立支援協議会の活動を通じて、事業所間の風通しのよい関係作りと地域の相談支援体制の構築ができつつあり、実りのある1年であった。</p>	<p>相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は、情報交換や事例検討、研修の場として有意義であるといった意見が寄せられていた。</p>	<p>概ね適切に運営されていた。周辺市町村の機関や資源とのネットワーク作り力が注がれていた。また、区内のヘルパー事業所の空き情報を収集してホームページ上で公開した。障害者支援施設からの地域移行支援にも取り組んだ。</p>
障害者相談支援センターみどり	緑区障害者基幹相談支援センター	<p>①基幹センター窓口をワンストップ(1か所)にし、緑区地域で経験を積み重ねてきたゆたか福祉会(知的・身体)と、グリーンハート(精神)との共同運営の強み。②触法支援事例の経験、司法との連携の積み重ね。③地域の課題をまとめ第4期障害福祉計画案に緑区自立支援協議会の意見として提出。④相談部会の活性化・事例検討など相談員の人材養成。⑤緑区は精神の窓口(センター)が今年度初めてでき、準備してきた精神部会を立ち上げ推進</p>	<p>相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は、事業所間の連携や情報共有ができ有意義という意見が寄せられていた。また、センターの相談体制の充実を望む意見も寄せられていた。</p>	<p>概ね適切に運営されていた。一般就労をしている知的障害のある方の居場所を提供する「何でもしゃべろう会」や週末の余暇活動を提供する「井戸端クラブ」などの独自の取り組みも行われていた。自立支援協議会の取り組みは積極的に行われているが、構成員の出席負担への配慮も必要と考えられる。</p>
名東区障害者基幹相談支援センターコンソーシアム	名東区障害者基幹相談支援センター	<p>個別の相談業務や指定特定相談支援事業所を支える役割については、概ね果たせていると考えている。地域移行・定着の啓発や、地域課題の解決に向けた動きに区内事業者をもっと巻き込むような取組を次の目標としたい。基幹センターが地域拠点として、方向性や具体的な取組を打ち出していないと、なかなか地域の動きにはつながらないため、センター内のミーティングを重視し、関係者の主体的な行動を促す工夫をしていきたい。</p>	<p>相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていたが、地域課題への取り組みや潜在的ニーズの掘り起こしを望む意見も寄せられていた。自立支援協議会は、事業所間の連携や情報交換の場として有意義であるといった意見が寄せられていた。</p>	<p>概ね適切に運営されていた。各学区の民生委員・児童委員協議会における障害理解に関する学習会が行われるなど独自の取り組みもあった。また、地域移行支援においては、一般相談支援事業所の後方支援として関わったが、普及啓発について今後の取り組みを期待したい。</p>

運営団体	センター名	自己評価 (平成26年度障害者基幹相談支援センター事業実施報告書から)	外部評価 (区自立支援協議会構成員へのアンケートから)	市の評価
天白区障害者基幹相談支援センターコンソーシアム	天白区障害者基幹相談支援センター	<p>たまり場プロジェクト等の事業を立ち上げ、自立支援協議会の活動を活性化させると同時に、地域のネットワークづくりという点でも成果が得られた。天白区は転入が多く、日々の相談支援ではそれ故の困難事例もある。相談件数の増加、内容の複雑化により対応に苦慮することもあるが、地域の専門機関や事業所と日常的に連携し、障害者が安心して生活できる地域づくりに努めている。</p>	<p>相談対応としては、親身、丁寧、迅速に行われており一定の評価がされていた。自立支援協議会は、事業所間の連携や情報共有ができ有意義という意見が寄せられていた。また、センターの相談体制の充実を望む意見も寄せられていた。</p>	<p>概ね適切に運営されていた。自立支援協議会における地域のたまり場作りのための事業である「たまり場プロジェクト」の実施により、協議会を活性化させるとともに、民生委員など地域とのつながりも深められた。</p>